前橋市役所
文化国際課
ジャクソン・バニスター

第二十一号　令和八年十一月

MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

皆さん、ハウディ！
ついに11月を迎え、前橋でも気温が下がり始めたことで、私も含め、多くの前橋市民がコートやセーターを引っ張り出すようになりました。個人的には、暑さ、そして特に雨の多い時期が終わったことをとても嬉しく思っています。これから訪れる寒い日々を楽しみにしています。



最初の感謝祭

さて、天気の話はこのくらいにして、今回は、アメリカの11月を代表する祝日、サンクスギビング（感謝祭）について紹介したいと思います！日本に住んでいる方にはあまり馴染みがないかもしれませんが、アメリカでは一年で最も多くの人に祝われる祝日の一つです。

アメリカのサンクスギビングには、長く、そして複雑な歴史があります。多くのアメリカ人は、サンクスギビングと聞くと、1621年にマサチューセッツ州プリマスで行われた有名な収穫祭を思い浮かべます。しかし、実際には、それ以前からヨーロッパからの入植者たちの間で「感謝を捧げる日」という習慣が存在していました。1621年の祝宴は、現在では「最初のサンクスギビング（First Thanksgiving）」と呼ばれることが多く、イギリスからの入植者たちと、先住民であるワンパノアグ族の人々が参加し、3日間にわたって収穫を祝いました。



感謝祭の七面鳥

その後も、アメリカ各地で感謝を捧げる日がさまざまな形で祝われ続けました。しかし、サンクスギビングが毎年祝われる全国的な祝日となったのは、ずっと後のことです。1863年、南北戦争の最中に、当時の大統領エイブラハム・リンカーンが、11月の最後の木曜日を全国的な「感謝祭の日」とすることを宣言しました。それ以来、サンクスギビングはアメリカを代表する年間行事の一つとなりました。

サンクスギビングには宗教的なルーツがありますが、現在ではさまざまな宗教や文化的背景を持つアメリカ人が祝っています。多くの家庭では、大きなサンクスギビングの食事を囲み、食事の前にお祈りをしたり、一人ずつその年に感謝していることを話したりします。

私の家族にとって、サンクスギビングは昔から、親戚が集まっておいしい料理を楽しむ大切な時間でした。サンクスギビングの食卓には、スタッフィング、クランベリーソース、マッシュポテト、野菜など、さまざまな料理が並び、みんなで大きな七面鳥を取り分けて食べます。とはいえ、私のようなテキサス出身の家庭では、タマレス、ハニーベイクドハム、コーンブレッド、ピーカンパイなど、テキサスらしい料理を加えることもあります。

今年は、日本でサンクスギビングを迎えることになります。もちろん、故郷を離れているので、いつものように祝うことはできません。それでも、群馬にいる他のアメリカ人JETと一緒にお祝いする予定です。丸ごとの七面鳥を調理できるかどうかは分かりませんが、アメリカの家族から離れていても、みんなで楽しい時間を過ごせたらと思っています！

子どもの頃は、年に一度しか会わない遠い親戚のおじさんやおばさん、いとこたちと話すことに、いつも少し気まずさを感じていました。でも今では、おいしい料理を囲みながら楽しく話したことや、家族と一緒に過ごした時間を大切な思い出として感じています。大人になると、以前は当たり前だと思っていたことの大切さに気づくことがあるのは面白いものですね。

海外で暮らすようになって、こうした家族の伝統をより一層大切に感じるようになりました。外国で暮らす人にとって、子どもの頃から慣れ親しんできた祝日や行事を、以前とまったく同じようには過ごせなくなることに慣れるのは、簡単なことではありません。今年は家族と一緒にサンクスギビングを過ごすことはできませんが、群馬の友人たちと楽しい時間を過ごせると確信しています。群馬で暮らし、働く機会を得られたこと、ここで素晴らしい人間関係を築けたこと、そしてこれから待っている楽しい日々に感謝しています！

出身地や信仰に関係なく、もし11月26日に少しお祝い気分になったら、ぜひ今年自分が感謝していることについて考える時間を作ってみてください。そして、家族や友人、大切な人たちと一緒にお祝いしてみてはいかがでしょうか。
Happy Thanksgiving!
それでは、また次回！



テキサス風の感謝祭料理